

高校生と地域の架け橋となるコーディネーター 「地域おこし協力隊」2名を任用します

令和3年2月25日
京丹後市役所

丹後学やキャリア教育など小中学校で醸成してきた郷土への思いをさらに深化させ、地元定着率の向上を図ることなどを目的に、「高校生」と行政や企業、地域の団体や人をつなぎ、「高校生」の意識の変化や気づきを促すコーディネーターを地域おこし協力隊として配置します。昨年3月の京都府立峰山高等学校への配置に加え、京都府立丹後緑風高等学校と京都府立清新高等学校へ新たに1名ずつの配置を行います。

従来の学校教育の視点だけではなく、高校生と多様な地域資源（人、もの、こと）をつなぎ、高校生の興味を引き出していく「橋渡し役」として活動を行います。

任用後、下記のとおり辞令交付式を行いますのでお知らせします。

1 辞令交付式

日時 令和3年3月3日（水）午前8時30分から
場所 京丹後市役所峰山庁舎2階 市長応接室

2 地域おこし協力隊

1. 隊員

氏名	主な活動場所	備考
李 瓊瑞 (リ ケイズイ)	京都府立丹後緑風高等学校	3月1日付け任用
岡部 萌香 (オカベ モエカ)	京都府立清新高等学校	3月1日付け任用

2. 任期 令和3年3月1日から令和3年3月31日
※ 年度ごとに任用し最長3年間

3. 勤務日数 週4日勤務

4. 活動内容 別紙のとおり

3 問い合わせ

市長公室政策企画課 担当：三井（Tel0772-69-0120）

活動内容（予定）

従来の学校教育の視点だけではなく、より多角的な視点で地域の資源をとらえながら、高校生の興味を引き出していく「架け橋」として、高校生と多様な地域資源（ひと・もの・こと）をつなぐコーディネート業務に従事します。

高校生が、「丹後学」や「キャリア教育」など小中学校で醸成してきた郷土への思いをさらに深化させ、地元定着率や将来のUターン者、関係人口を増やすことを目的に、高校生と行政や企業、地域の団体や人をつなぎ、高校生の意識の変化や気づきを促す役割を担います。

① 京都府立丹後緑風高等学校

- (1) 2学舎（網野学舎、久美浜学舎）が持つ商業分野と農業分野の連携による6次産業化を目指した学習活動における企画・運營業務
 - ・ 教員にない視点での商品開発などの研究開発や活動拠点（海部Kitchen）の活用方法における提案・支援
 - ・ 地域の食や農にかかわる企業、人材と教員の引き合わせ
- (2) 高校生と地域をつなぐ地域創生教育・キャリア教育事業の企画・運營業務
 - ・ 地域の大人や企業と連携した地域創生教育・キャリア教育事業の提案・企画
 - ・ 高校と地域をつなぎ、生徒のアイデアを引き出す支援・提案
- (3) 地域国際交流の機会創出
 - ・ 市内在住の外国人との接点づくりを中心とした地域国際交流の機会の創出
- (4) 上記の活動の情報発信業務
 - ・ 授業内活動等における広報活動、情報発信、Web販売などメディアの活用

② 京都府立清新高等学校

- (1) 地域連携を中心とした学習活動における企画・運營業務
 - ・ 教員にない視点での探究・課題研究活動やカリキュラムについての提案・支援
 - ・ 地域連携の推進と地域の人材と教員の引き合わせ
- (2) 高校生と地域をつなぐキャリア教育事業の企画・運營業務
 - ・ 地域の大人や企業と連携したキャリア教育事業の提案・企画
 - ・ 高校と地域の連携における、農・食・ファッションなどの分野での学びのコミュニティづくり
- (3) 上記の活動の情報発信業務
 - ・ 授業内活動等における広報活動、情報発信

③ その他

(1) 地域おこし協力隊間での連携業務

- ・ 市内各高校に配置する地域おこし協力隊3名が連携し、市内高校間での情報交換や授業のアドバイス、サポートを随時行う。

(2) 京丹後市未来チャレンジ交流センターとの連携業務

- ・ 高校生や若者が地域と繋がる拠点として設置運営している京丹後市未来チャレンジ交流センターとの連携を行う。
- ・ 市内の高校生同士が交流する機会や、地域に興味がある高校生と学校外の拠点をつなぎ、多様な大人との対話やフィールドワーク、生徒達にとって有用なインターン、ボランティア、プロジェクトをコーディネートする。また場合によっては、プロジェクトの伴走支援をする。